

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	介護老人福祉施設 No.0176400034		
法人名	社会福祉法人 萌寿会		
事業所名	グループホーム 萌寿園		
所在地	北海道留萌市6丁目18-6		
自己評価作成日	平成27年8月21日	評価結果市町村受理日	平成27年11月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL index.php?action_kouhvu_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=0176400034

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当GHは開設11年を迎え、併設の従来型特養、地域密着型特養、デイサービス、居宅との協力体制も整っており、母体の特養と共に地域との交流もある。地域密着型特養とは、合同ドライブ等を行い、入居者間交流もある。GHの月行事では、ボランティアの協力支援により、順子クラブ(書道)やドラムサークル(ドラム演奏)、なつかしクラブ(懐メロ等)を継続。また、職員個々の力が発揮できるよう、ふまねっと運動(インストラクター受講済み 2名)や音楽サークル、ワカ子美容教室を開始しレク活動の充実を図っています。また、外出支援(花見、サクランボ祭り、ひまわり見学、ドライブ等)を多くし入居者様に季節感と昔を思い出し楽しみが持てる活動を企画実施しています。職員のケアの質向上の為、外部研修や法人の内部研修にも積極的に参加し内部伝達を行い職員周知を行っている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	平成27年10月9日(金)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム萌寿園は、留萌市内の高台に立地し、開設から今年で11年を迎えています。地域や災害協会との信頼関係を構築し、避難訓練の時には避難の手助け、見守り等で参加を得たりしています。利用者や職員は、地域で開催される祭りやイベントには積極的に出かけ、地域の一人として交流を続けています。事業所内では、各種のクラブ活動が盛んに行なわれており、無理強いすることなく、利用者が積極的に参加している姿が見られています。また、管理者と職員は、事業所独自の理念を大切に考え、日々のケアに繋がるように理念の意義についてミーティング等で確認しています。法人本部で新設の地域密着型特別養護老人ホームを開設し、職員の入替わりもありましたが、利用者がこれまでの生活が変わることなく、主体的にゆったりと暮らせるように支援が続けられています。利用者にとってこのグループホーム萌寿園が、安心して自由に暮らせる場所であり、笑いと生きがいを持って生活出来る場となるよう職員は一丸となって取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の経営理念、方針に基づき行動を具体化した7項目の「職員行動指針」がある。また、個々に行動指針を携帯し日常業務の中で意識し実践している。	管理者と職員は、理念の大切さを十分に理解しており、職員に浸透できるようにミーティング等で確認しています。事業所の玄関に理念が掲げられ、職員と利用者・家族も確認しています。自主性を重んじた利用者の姿から実践に繋がっていると感じています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に、スーパーへ食材を買いに出かけている。併設の特養との合同イベントで共に、学校行事や娯楽施設へ出かける行事を実施している。	地域で開催される祭りやイベントに積極的に参加し、交流する機会を大切にしています。日常の散歩で馴染みの関係を築いたり、ボランティアの訪問が多く、交流を楽しんでいます。隣接の特養との行き来もあり、知人や友人と会話する機会もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	母体と共に、医大生の地域医療基礎実習や近隣小学校の総合的な学習の受け入れをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、町内会、市介護保険課長(担当者)等を委員とし、2か月毎に開催し、実施行事の報告、計画等の説明を行い、委員から建設的な意見を頂き、運営に活用している。	地域包括支援センター職員、地域住民、家族、法人関係者、住職等の参加により定期開催が続いています。事業報告や活動内容が伝えられ、出席者からの意見や提案が出され、会議の内容がサービスの向上に活かされるよう努めています。又、欠席の家族には会議録が配布され、情報を共有しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険係、地域包括支援センター、ケースワーカーとも連絡を取っている。他、運営推進会議委員を通じ、事業内容の相互理解を深めている。	相談や問い合わせ、手続き等で直接窓口に出かけ、信頼関係を築いています。運営推進会議への参加もあり、市内の状況報告や質問にも答えてもらっています。地域ケア会議に出席する事で、他サービス事業者との情報交換や研修もしています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は防犯対策で夜間のみ施錠。また、身体拘束廃止委員会規定もあり、拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、定期的にケア内容の振り返りを行なっています。身体拘束は行なわないケアに努め、会話の中で何気なく使用していないかについて、特に気を付け話し合っています。職員同志がお互いに確認し合い、注意し合える関係づくりを目指しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に	虐待に関する研修への参加。「不適切なケア」が見過ごされないよう、毎月のGH会議で話し合いを持ち、法人全体で見過ごされることが無いよう、注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し理解を深めているが、活用には至っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時には、重要事項と共に説明し理解・納得して頂いている。料金改定の際にも、説明し同意書を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置とご家族来訪時に、ご意見等をお聞きし運営に反映させている。	面会に訪れる家族も多く、管理者と職員は日常の様子や受診状況を細かく伝えています。意見や要望を、職員と一緒に共有する事で検討しています。生活の様子を多くの写真に残し見てもらっていますが、今後は個人向けのお便りの検討もしています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、月1回の会議において職員からの意見を取り入れ、理事長、施設長に報告、提案を行い運営・施設整備の改善を図っている。	月1度の全体会議を開催し、サービス状況の検討をしています。職員はサービス内容のモニタリングを担当し、会議の中で提案出来るように取り組んでいます。法人では各種研修、資格取得技術や、資料の提供に努め職員のスキルアップを図っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の安心安全が保てるように、環境整備を進め、やる気や意欲向上に繋げることに協力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修の他、外部研修への積極的参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークづくりや、同業者と連絡をとりサービスの質の向上を目指し、勉強会、合同レクを調整中。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にホームを見て頂くなど、ご本人と関わりのある事業所やケアマネと連携を図り、ご本人やご家族の理解・納得を得てから入居の運びとしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族に対しては、事前にホームを見学して頂く事を必須とし、不安な点を確認し関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている援助を見極め、ご家族の思いとご本人の思いが相違する場合には、ご本人の思いを代弁しご家族へお伝えすることも有る。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯物干し、買い物、畑作業など入居者と一緒に行い、支え合う関係を築きお礼の言葉がけを忘れず行う様にしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族参加の行事の実施している。また、必要時受診の家族立会や馴染みの理美容院など家族に担っていただき、共にご本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の知人の来訪もあり、馴染みの美容院やかかりつけ医の継続など関係が途切れないように支援している。	家族や知人の来訪時に職員は歓迎し、もてなしています。かかりつけ医の継続や理美容の利用、編み物や手芸で趣味の継続に努めています。利用者のこれまでの生活環境を把握し、馴染みの関係や得意の技能の継続を支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自然に居間に集まり、ソファでくつろぎTVを観て談笑している。また、ホール内の往来は自由に写真や作品を見ながら、入居者同士の会話も見られている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、職員は個々の入居者の思いや意向の把握に努めている。会議の際に意見を出し合い検討しています。	職員は、家族からの情報を基に、利用者一人ひとりに寄り添い、顔色や様子を伺いながら声掛けをし、思いの把握に努めています。職員は、ミーティング時に情報を共有し、利用者の意向に沿った支援に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の会話の中で、これまでの暮らしや生活環境が把握できるよう努めている。また、ご家族来訪時に確認する様にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の業務の中で話し合っている。ほか、職員間の連絡事項に伝達事項等記入し、出勤時確認して把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の意見を考慮し、職員の気づきを踏まえ現状に即した計画を作成している。	計画作成者は利用者の現状に合わせた介護計画を作成し、職員に周知を図っています。見直しの時期に担当職員は、サービス内容についての実施状況を記載する取り組みを進めています。今後、記録は利用者の状況確認が出来るように検討しています。	記録については、介護計画の短期目標について連動する事が重要と考え、モニタリング・評価に繋げるためには、介護計画の目標が今日ほどの程度達成しているのか、何処まで出来ているのかなどを記載出来るように期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に1回のGH会議の中で、連絡事項の確認と新たな情報や気づきを出し合い、情報共有しながら、計画に見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対し、可能な限り対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流を絶やさず支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員が同行し、かかりつけ医の受診支援を行っている。ご家族へは来訪時職員から受診報告し、必要時にはご家族も一緒に医療機関へ同行して頂いている。	入居前からのかかりつけ医を主治医とし、受診はホームで支援しています。家族が受診対応する時も職員が同行し、日常の様子を伝え、主治医の説明を聞いています。受診結果は問題がなければ面会時に、必要があればすぐに報告しています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ病院の看護師や薬局薬剤師、法人内の看護師に相談し、健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関関係者と必要な情報交換、相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前に医療行為が必要になった場合には対応できない事を説明している。重度化した場合にはご家族の協力を得ながら対応している。	入居時に、重度化した場合における対応を利用者・家族に口頭で説明しています。重度化した場合は、家族や医療機関と連携を取り、その後の対応を検討しています。隣接の特養萌寿園への入所に繋げることもあります。	終末期・ターミナルケアの対応は困難となっていますが、家族や利用者の信頼・安心を確保するために、不安な部分について明文化する事で安心に繋げる事が出来ます。グループホーム萌寿園で出来る最大のケアについて明文化し、利用者・家族の安心に繋げられるように期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	母体の特養にAED設置。法人内事業所合同で定期的に救命救急研修、講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練を年2回と自然災害を想定した訓練を年1回実施している。町内の災害時救出協力会や運営推進委員とも協力体制が整っている。	地域の災害時救出協力会の協力を得て、特養と合同や単独で年3回避難訓練を実施しています。自然災害の想定や、今年は夜間を実際に行ない避難の危機を体感する事が出来ています。備蓄についても法人の協力で整備が進んでいます。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の誇りを気づけけない言葉かけ、対応に努め毎月の会議に中でも話し合いを持ち徹底に努めている。個人の情報となる書類等は見え隠れにしている。	利用者のプライバシーや人格の尊重・誇りを損ねないサービスについてミーティング等で話し合い、実践しています。個人情報の管理についても適切に行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の関わりの中で、自己決定できるよう選択肢のある声掛けを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者個々のペースを大切に、出来る限り希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の生活の中で、身だしなみに心がけ、外出時ご本人の希望時にはお化粧の援助を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー決めでは入居者へ嗜好を伺い、買い物や食事準備、後片付け等を職員と共に行い、会話を楽しみながら食事をして頂いている。	朝・昼食の総菜は業者から取り寄せ、ご飯とみそ汁は職員が用意します。夕食はすべてを手作りし、職員と一緒に会話を楽しみ食べています。誕生日やイベント、季節の行事に合わせた嗜好を凝らした食事も提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体の栄養士へ相談、連携を図り入居者個々に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者個々の力に応じた支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者個々の力に応じた支援を行っている。	自立されている利用者も多く、トイレ排泄を基本に支援しています。利用開始前の身体状況が、職員の声掛けや排泄状況の把握により改善しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者個々の力に応じた支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週3回の入浴を実施。一人一人がゆったりと入浴を楽しめるよう午前と午後に分けて行い、午前午後のどちらで入浴されるか希望を伺い支援している。	週3回入浴の機会があり、それぞれの要望に配慮した入浴支援となっています。入浴好きの利用者も多く、ゆっくりと時間をかけた入浴となっています。入浴剤を使用する事で気分を変えたり、同性介助の支援に応えています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況に合わせ、安心して休んで頂けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護職員が何時でも用法・用量を確認できるよう薬の説明書の保管場所を決めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の役割としては特定せず、ご本人が得意とし自信を持って行える事を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	敷地内や町内会への散歩を日常的に行っている。母体特養と合同の外出行事やGH単独でのドライブ等戸外に出かける行事を実施している。	日常は一人ひとりの体調や天候を考慮しながら、近郊へ散歩に出かけています。年次計画には季節に配慮した、多くの外出行事が計画され、花見やサクランボ狩りに出かけたり、隣接の特養と合同で盆踊りや花火大会が楽しめます。体力維持の為の運動や機能訓練が、外出の意欲を高めています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望や能力に応じて、ご家族と相談し支援。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望されて場合には、何時でも電話が使用できるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分であるホールや廊下のソファに腰かけ、TVを観たり 壁に飾っている入居者と職員手作りの季節の飾り物や、行事写真を見て過ごして頂いている。	1ユニットのグループホームであり、家庭的でゆったりとした造作となっています。食事の場以外に多くのソファも配置しており、思い思いの場所でゆったりと寛げます。ホーム内の各所にクラブ活動で作られた作品を掲示し、日常会話の基にもなっています。ふまねっと運動が出来るほど広く、利用者の頑張っている姿と笑い声がホーム内に響いています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有部分であるホールや廊下のソファに腰かけ、TVを観たり 壁に飾っている作品や、行事写真を見るなど思い思いの場所で過ごして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、カーテン、ベッド、冷蔵庫、ミニタンス、ストーブが備え付けています。また、各自で家具や椅子などを持ち込まれ、居心地の良く過ごせるようご家族と相談し工夫しています。	居室には明るい日差しが差し込み、使い慣れた寝具や家具が持ち込まれ、多くの衣類を収納しています。テレビや冷蔵庫もあり、自由に暮らせる配慮もしています。遠方の家族との交流で、アイパットが直接顔を見ながら話せる電話となり、楽しみに待っている利用者もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	回廊式になっており、導線には手摺を設置。また、対面式の台所が建物の中心に位置しておりホール全体が確認できる。		